

釜房湖畔開発反対

◎榎原 彩野 神谷 研志
小西 絵里子 高橋 岳太
林 諒一 山口 恭平

釜房湖畔



- 釜房ダムは仙台市の西方約25km、名取川の支流・基石川にある。
- 釜房湖周辺は宮城県自然環境保全区域に指定。

釜房湖畔開発

これらはどこにでも存在しうる！！

1.ショッピングモール建設

2.アミューズメントパークの建設

3.ゴルフ場 など。

釜房の**独自性**を

「**美しい自然**」

ととらえるならば、
開発すればするほど

**失われていくこ
とになる！！！！**

実際の釜房湖畔はというと・・・

- 魅力のない自然公園
- 悪臭を放つダム
- 廃棄物の放棄

釜房湖畔開発の是非

1. 開発による環境問題は発生しないのか？
2. 釜房ダムを含めた今後の開発で効果的な利益を得られるのか？

釜房ダムの開発



釜房ダム



- 貯水容量 4530万 m^3
- 総事業費 87.2億円
- 形式

直線重力式コンクリートダム

- 流域面積 195.3 km^2
- 平均水深 11.6m
- 最大水深 43.6m

ダム湖のカビ臭

原因

植物プランクトンの藍藻類の一種である、
フォルミデウムの体内からカビ臭の原因物質
2-メチルイソボルネオール(2MIB)が排出。

みちのく湖畔公園の池の水から
植物プランクトンが流出。
カビ臭は公園にとっても悪影響に。



フォルミデウム

カビ臭の対策として、
国は1984年に釜房ダムに6つの曝気装置を設置。

しかし！！

- 底に溜まった汚泥を完全に取り除かないと、カビ臭は除去できない。
- 地域住民の流す農業廃水という富栄養化の根源を除去しないかぎり、循環させるだけでは意味がない。
- 湖畔公園の中の池からの流入水改善。

ダム湖の水質問題

釜房ダムの水質

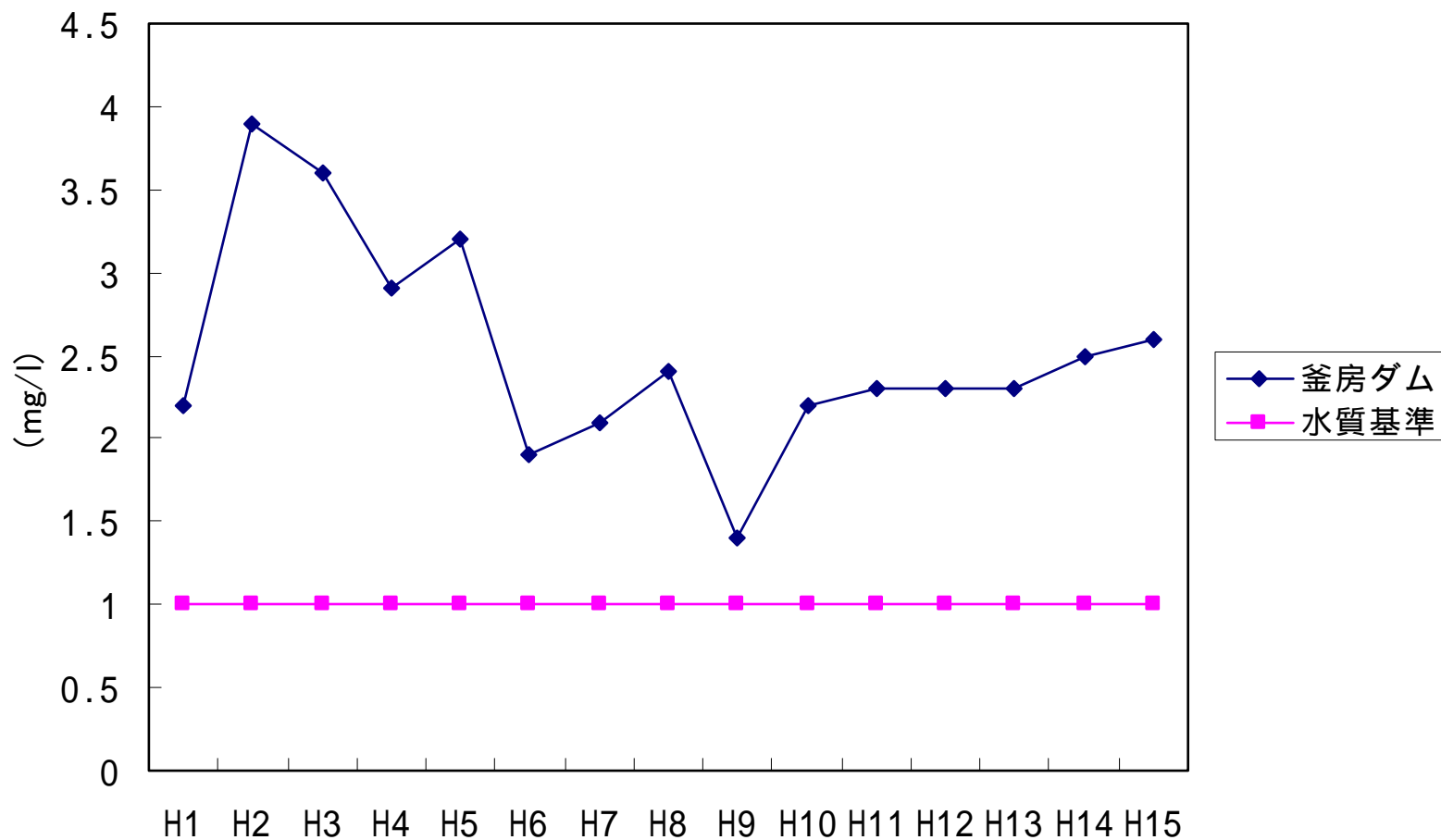
「湖沼の水質環境基準」の類型AA



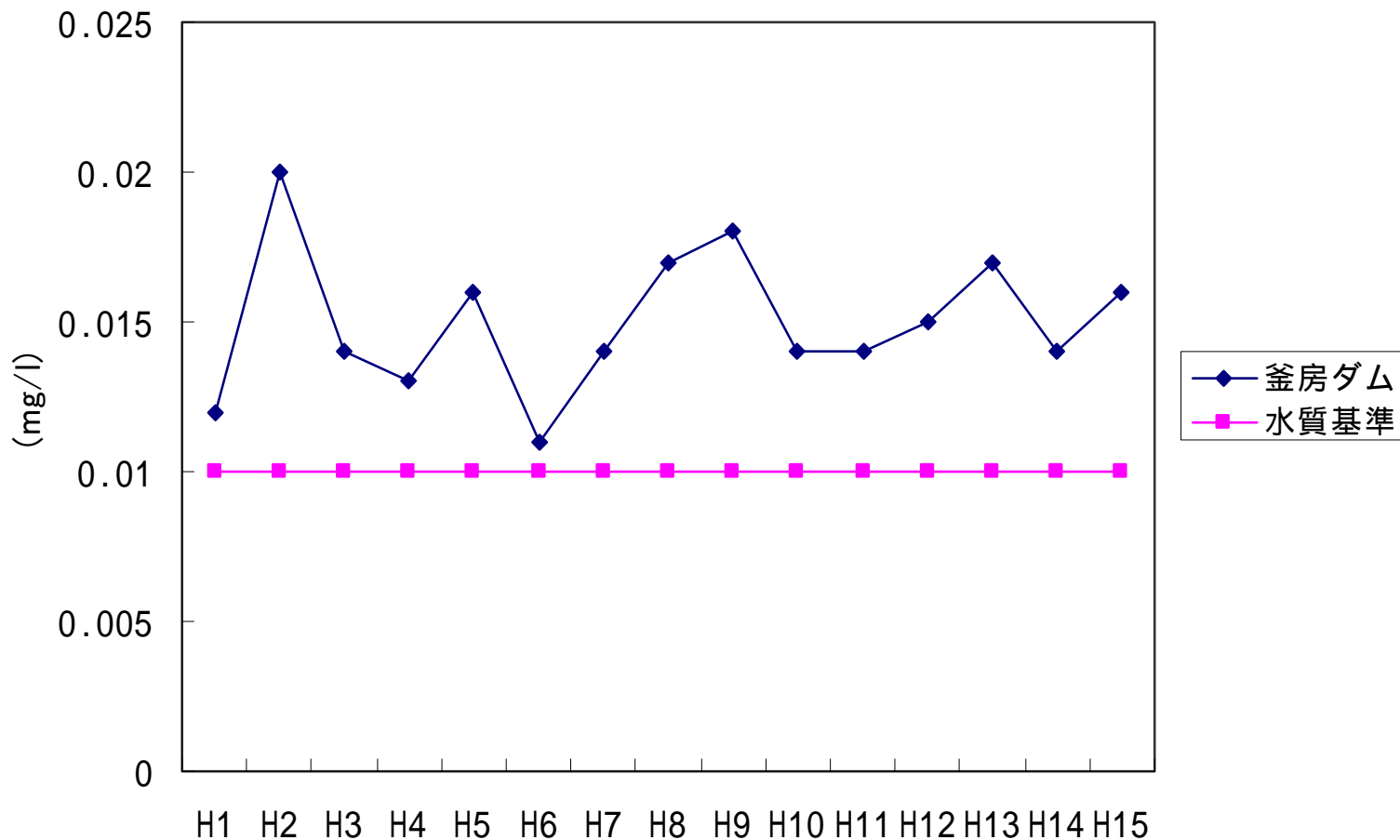
実際は基準を満たしていない！

水質汚濁機構は複雑多岐で未解明の分野が多い。
水質の改善を図るには総合的な調査研究が必要！

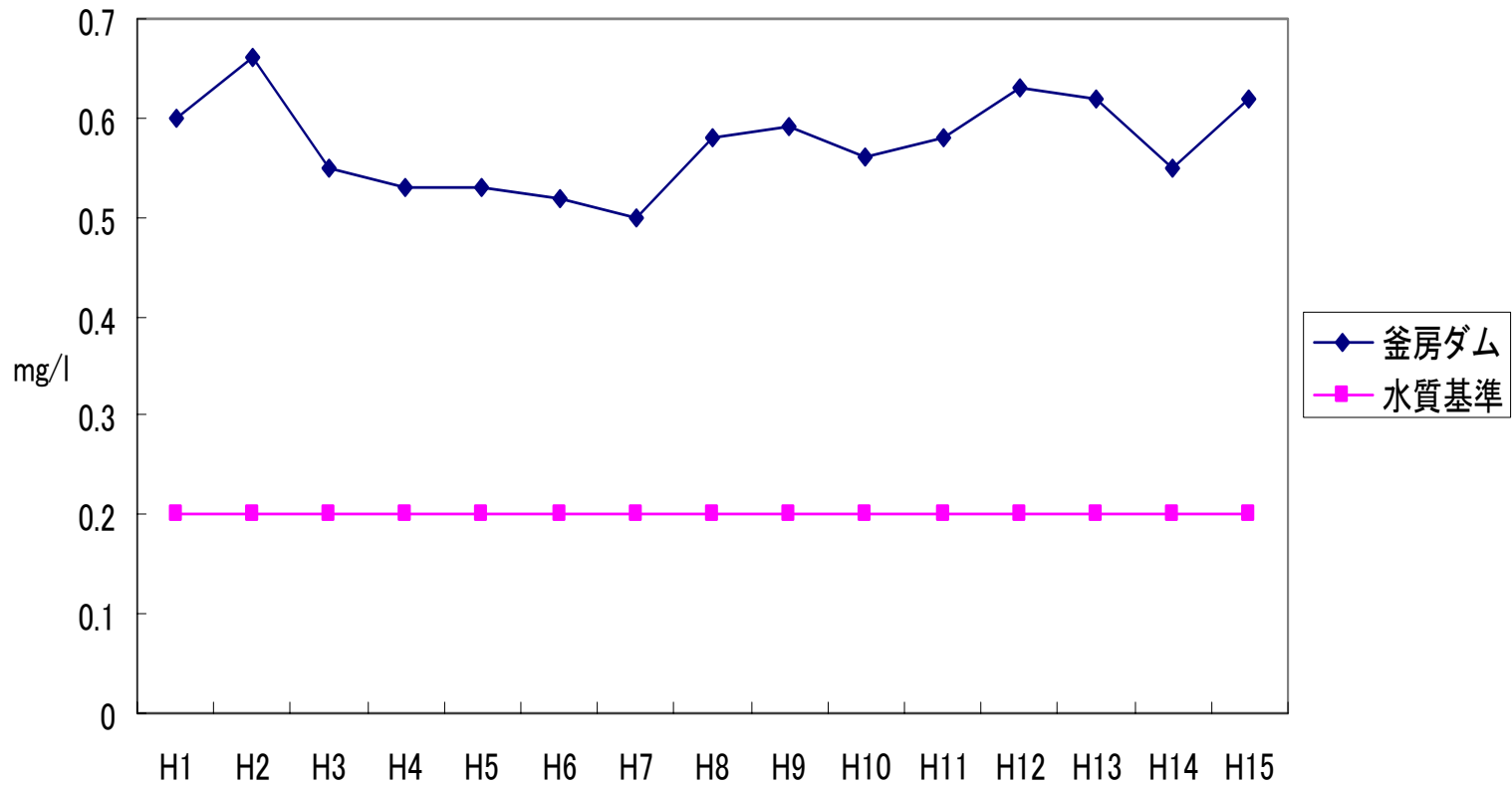
釜房ダムの水質推移 (COD)



釜房ダムの水質推移 (T-P)



釜房ダムの水質推移 (T-N)



ダムの必要性

釜房ダムは仙台市水道局給水量35.5%



ダム自体は必要ではある

BUT !

起こりうる環境問題を予測して
ダム周辺の開発をするべきであった。

みちのく湖畔公園の開発



みちのく湖畔公園



- 総面積 647.4ha
- 年間利用者数 40万人
- 東北初国営公園

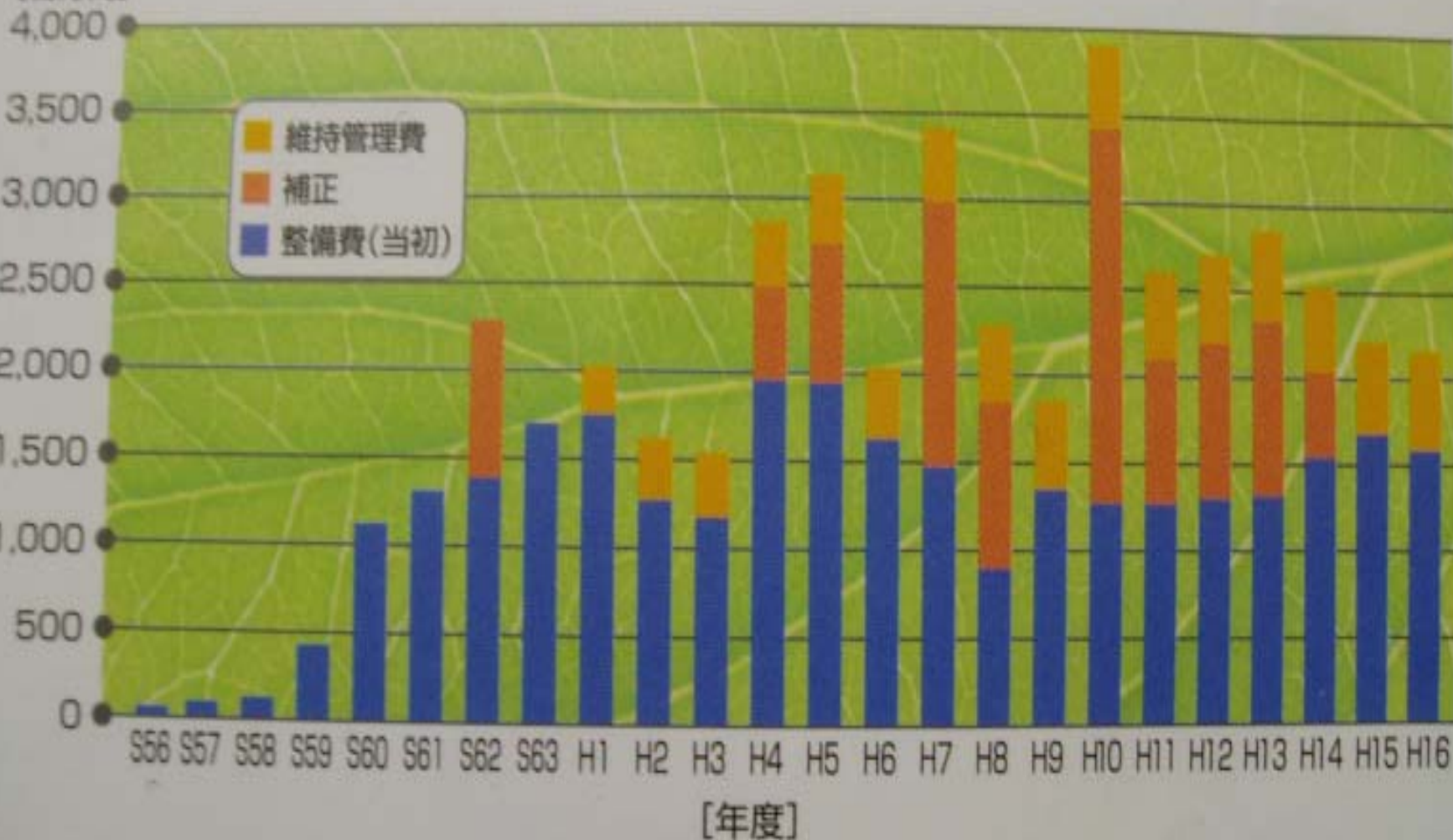
広大な敷地

- 維持費 年間約5億円！
- 整備費・補正費も含めると年間約20億超の予算！
- 建設費 38億円(時の広場ののみ)



●公園予算の推移

[百万円]



少ない利用者

- H15年で 約55万人
- 冬場の利用者は特に少ない。

国営公園の平均は130万人

ダム周辺公園の例

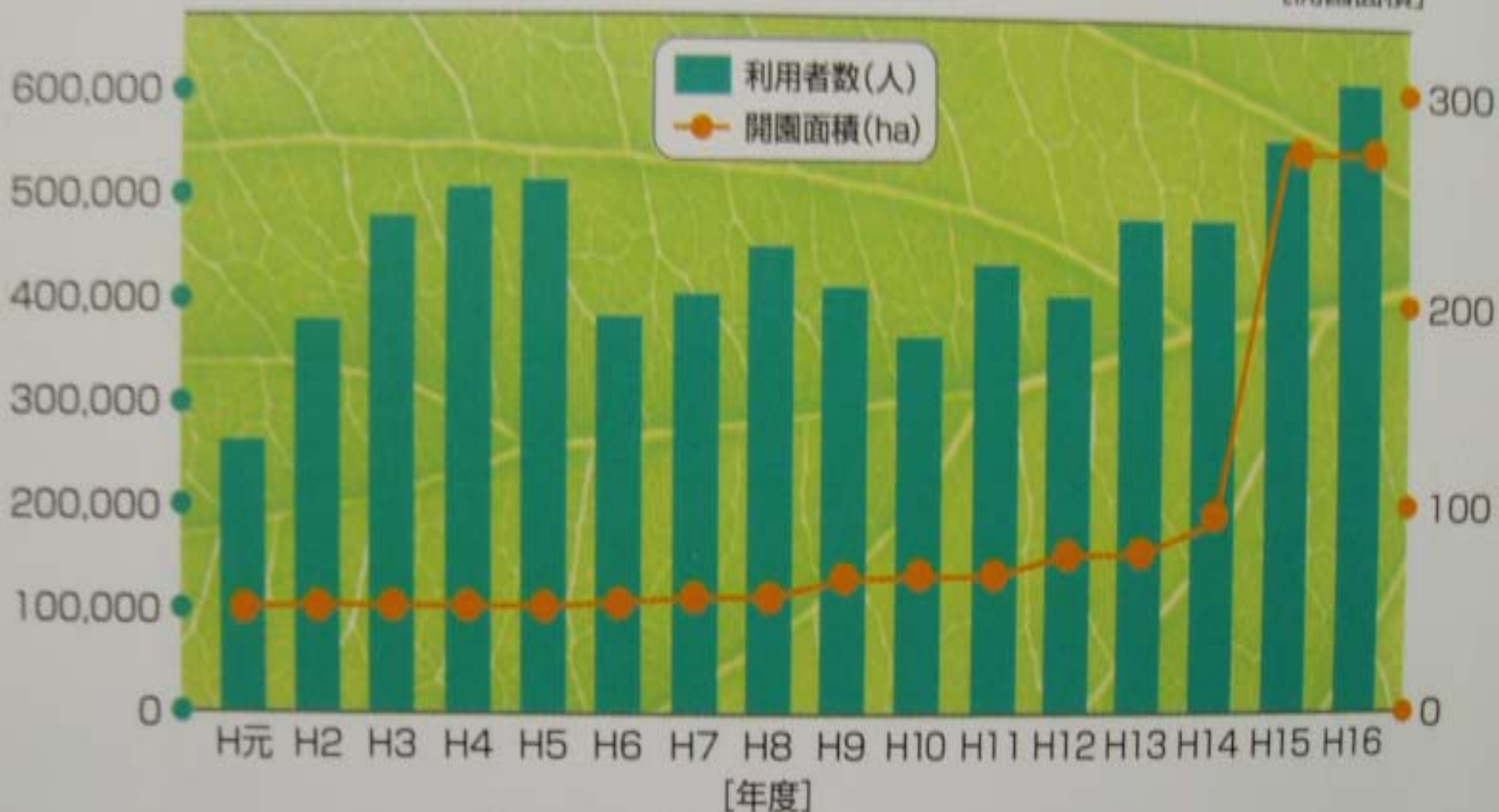
宮が瀬ダム 130万人

御所ダム 101万人

● 公園利用者と開園面積

[利用者数]

[開園面積]









対策

利用者減 → 開園面積増大

単純な解決策

しかし利用者はあまり増えていない。
利用者の半数は無料利用者・・・

今後開発を進める計画でよいのか？

アクセス面

利用者増加



交通渋滞発生



道路建設はがけの
ためお金がかかる..



人数が増えても困るし少なくとも困ってしまう

都市公園の役割

- 良好な都市空間の確保
- 都市の微気象の緩和
- 災害時の機能

etc....

都市公園はきわめて多機能を有する貴重な都市施設
無理にお金をかけてみちのく公園を開発するよりも
他の使い道を考えるべき

まとめ

- みちのく公園は税金の無駄使い
- これ以上自然を壊す開発は無意味

以上のことから・・・

釜房の

魅力といえは

大自然

守っていこう

開発反対

